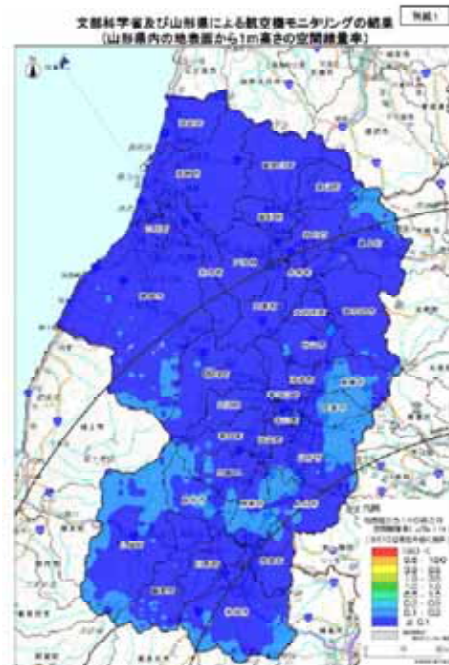


新連載 放射能の話 その1



文部科学省及び山形県による航空機モニタリングの結果
(山形県内の地表面から1000mの高さの空間線量率)

福島原発事故の被害は広範囲に及び、地域まるごと長期にわたって影響を与えています。「放射能の話」について、研究者から寄稿していただきます。ぜひご意見を党市議団にお寄せ下さい。

空間放射線量メモ (その1 航空機からの調査)

「文部科学省及び山形県における航空機モニタリングの結果」

2月18日(土)
午後2時~
勤労者会館



2012年 日本共産党

新春のつどい

会費：1,000円
高橋ちづ子衆院議員国会報告

ニタリングの測定結果について、平成23年9月8日付けで文部科学省原子力災害対策支援本部から報道発表されています。測定は8月8~15日。航空機は山形県の防災ヘリコプターで飛行高度(150~300)m、対象項目は地表面から1mの高さの空間線量率、及び地表面への放射性セシウム沈着量。

空間線量率の結果の図では、毎時0.1マイクロシーベルト(μSv/h)未満の占める割合が多いものの、マイクローシールドのところがかなりみられます。

8月15日の測定では、鶴岡市におけるこの領域は、西川町、村上市に隣接するところ、平野部の一部裾野あたりにもみられます。

1年間に浴びる空間放射線量の上限を1ミリシーベルトとする、毎時では0.23マイクロシーベルト。鶴岡市

山形県広域支援対策本部では、「周辺より放射線量の高い箇所の調査結果(中間3回目)」(平成23年12月20日)を公表し、その中で次のように記しています。本県の空間放射線量については、文部科学省で8月に実施した航空機モニタリング調査結果で公表されていますが、一部の市町村において人里から離れた

鶴岡田川原水協が総会
原水爆禁止鶴岡田川地区協議会が31日、総会を開きました。

同協議会は3・1ヒキニデー派遣、鶴岡市の平和都市宣言実現、放射能学習会の実施、国民平和大行進と原水爆禁止世界大会参加などに取り組んで来しました。

今年も核戦争阻止、核兵器の完全禁止、放射能被害者援護の活動に取り組むことを決めました。

総会では、会の名称を「原水爆禁止田川地区協議会」から「原水爆禁止鶴岡田川地区協議会」(略称鶴岡田川原水協)に改める規約改正などを行いました。

山岳地帯に局所的に毎時0.2から0.5マイクロシーベルトの箇所が若干見受けられます。

環境省では、当該調査結果を踏まえ、除染対象となる空間線量である毎時0.23マイクロシーベルト(以下「基準値」)以上の箇所がある関係市町村から特措法に基づく重点調査地域指定に係る意向を事前に確認したい旨の照会があり、当該市町村に地域指定制度を説明し、意向を確認したところ、次のような理由で指定を希望しない旨の回答がありましたので、環境省に対しその旨報告しております。指定を希望しない主な理由(略す)。(記G・A)

加藤太一市議が理事として出席しました。

自交総連が旗開き
自交総連山形地連は2月に4日間に分けて旗開きを行いました。

住宅リフォーム支援が元氣与えた
田川建労大山支部

田川建設労働組合大山支部第57回定期大会が5日、大山コミセンでおこなわれました。平成23年度に導入した「住宅リフォーム支援事業」は、建設事業に携わる大山の職人に希望と元氣を与えられたと、羽根田大山支部長から挨拶のなかで感謝の言葉が述べられました。

大会に来賓として出席した三浦幸雄市議は、「本市で取り組まれた事業は大変市民に好評で継続して取り組むようにと12月議会の一般質問で取り上げた」と報告しました。

タクシーの規制緩和を改めタクシー業界と労働者の暮らしを守ろうと団結の強化、交流を深めました。加藤太一市議、関徹市議があいさつを行いました。

市議会3月定例会日程(予定)

開会時刻は10:00です。

- 2月29日(水)本会議(開会、提案説明、総括質問等)
 - 3月1日(木)予算特別委員会
2日(金)本会議(一般質問) 11:30~党市議団
 - 5日(月)本会議(一般質問)
 - 6日(火)本会議(一般質問)
 - 7日(水)本会議・予算特別委員会
 - 8日(木)常任委員会(総務)
 - 9日(金)常任委員会(市民生活)
 - 12日(月)常任委員会(厚生文教)
 - 13日(火)常任委員会(産業建設)
 - 21日(水)予算特別委員会
 - 22日(木)本会議(閉会)
- 請願の締め切りは、2月23日(木) 13時

地域農業マスタープランの作成へ 市議会産建常任委員と農業関係者との 意見発表会

鶴岡市議会産建常任委員会・鶴岡市認定農業者会議・生産組合長代表等農業者・鶴岡市農業委員会合同の意見発表会が3日開催されました。

各地域の農業者と農地の問題の解決に向けた施策や地域農業マスタープラン、新規就農と農地集積について、農林水産部から説明を受けました。

高齢化の進展や米価の下落、農業者戸別所得補償制度の実施等、農業農村を巡る情勢が大きく変わっていること。集落によってそれぞれ課題に直面しているなかで、国の新規就農者及び農地集積に関する新しい施策が打ち出されたこと。生産組合等を通じ新施策・新制度を農業者に知らせ、集落内の話し合いの結果を受け、必要に応じて新施策に関連する地域農業マスタープランを作成する」とい

うものです。

50人以上の参加でしたが、ほとんどの人が意見を述べました。

その主な意見は、女性部の人から、「マスタープランにすると大農家だけになる。雇用に携わる人がいなくなる。地域のいろいろな事業が継続できなくなる。女性農業者が従事できるようにしてほしい。マスタープランには反対。」

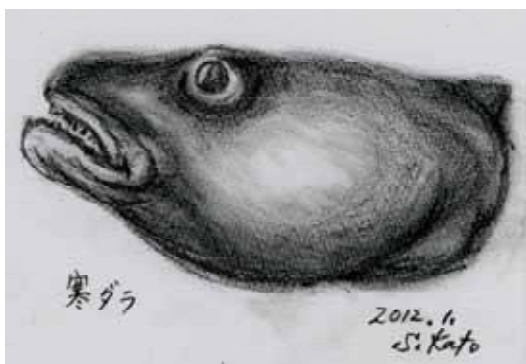
「後継者がいる所とない所があるので、集落を飛び越えてやらないといけない。」
「農地の出し手はあるが、受け手がいない状況。規模拡大しようとする人がいなかった。」

「夫と2人で誇りをもつてやっているが、潤いがない。農業が不安なので息子には働いてもらっている。」
「ニーズとして必要なものに補助金を出してほしい。政権が変わ

朝日庁舎入札結果 () 内は予定価格 2月6日入札分
・市朝日中央公民館トイレ改修工事 不調
都市計画課入札結果 () 内は予定価格 2月2日入札分
・市道南町荒町大宝寺町線道路改良工事に伴う工損調査業務委託(山王町地内) (有)鶴岡測量 8,800,000円(9,333,000円) 期間~3/29
管理課入札結果 () 内は予定価格 2月2日入札分
・市立豊浦中学校敷地内水路災害復旧工事 不調
土木課入札結果 () 内は予定価格 2月2日入札分
・下清水8号線道路改良工事(下清水地内) 中止(参加3者未満)
・下清水8号線外舗装新設工事(下清水地内他) 中止(上記路盤工事入札中止のため)
・青龍寺川橋線他1路線表層改良工事(新形町地内他) (株)佐藤工務 5,000,000円(5,079,000円) 工期~5/14
温海庁舎入札結果 () 内は予定価格 2月2日入札分
・平成23年災33-110菅野代(2)道路災害復旧工事(菅野代地内) (有)日本海重機建設 1,350,000円(1,370,000円) 工期~3/23
・平成23年災33-102越沢水路災害復旧工事(越沢地内) 不調

寒鱈の目玉をしやぶる周平忌

工藤 博司



(画・加藤貞雄)

藤沢周平さんの忌日は一月二六日である。

藤沢さんが亡くなられてからもう十五年の歳月が流れた。忌日は「寒梅忌」と呼ばれ、藤沢さんの作品や人柄を慕って、一月の寒さもかえり見ず全国から人々が鶴岡に参集する。この季節はまた、寒鱈の季節である。藤沢さんは、日本海沿岸の魚を好み、とりわけカレイ、ハタハタ、小鯛などを口にした。地場産の魚はしきりに藤沢作品に登場する。寒鱈も例外でない。寒鱈は丸ごと食べられ捨てるところがない。寒鱈の目玉のゼラチン質をしやぶっているときりに藤沢さんの思い出に浸ることが出来る。今年には豊漁ののだが大シケが続くように漁に出られないのが残念。庄内人は、寒鱈汁を口にしないで春を迎えることが出来ない。

上になると資本費・人件費がかさみコスト高になる。15名位までの規模で戸別所得補償を拡充し、労賃と生産費がカバーされ、農外収入と併せて農家経営を進めていくことができ

れば良いのではないかと発言しました。今後マスタープランが作成されますが、農家の意見もよく聞き、実りある制度にしたいです。

続・私説藤沢周平 「義民が駆ける」

川北江戸登り

西郷組を皮切りに江戸登りが続く。同年12月大雪の中、飽海郡遊佐、荒瀬、平田の川北(最上川の北、南を川南)三郷の百姓21人(江戸登りは11人)は、吹

年3月、本間辰之助・文隣和尚は川北・川南の百姓、寺院総代ら総勢46人の江戸登りなどである。

浦番所の東、鳥海山麓を抜け秋田領から新庄領を通じて江戸に登り、翌年1月老中水野忠邦ら5人への駕籠訴に成功する。同年2月、川北二番登りが嘆願。同年2月、中川通(藤島組中心)十文字村奥泉伊之助、同村弥右衛門、平形村五吉、治平ら8人が鶴岡七日町旅籠巴屋より江戸へ出立。同

川北一番登りの駕籠訴の状況を引用する。「未明に起きて、宿の井戸端を借りると水垢離をとった。遅しい裸身に湯気が立つほど水をかぶり、部屋に戻ると、入牢にそなえて残金を均等に分配し、それから静かに水盃をかわした。」「お願いでござります！恐れながら、お願いでござります！人を掻きわけながら、四郎吉は叫んだ。これまでの生涯で、こんな声を出したことは一度もなかった。たなとちらと思つたほど、自分の声とも思えない腹からしぼり出すような喚き声が出た。」



夢の浮き橋「江戸城前にて駕籠訴」

(致道博物館所蔵)

(青山)